

- 1 双子葉類の根に見られる、太く発達した中心となる根のことを何という？
- 2 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？
- 3 ハチやチョウなどの昆虫によって花粉を運んでもらう植物の花を何という？
- 4 マツのような裸子植物において、胚珠がむき出しの状態から成長して形成される、繁殖のための器官を何という？
- 5 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分を何という？
- 6 胎生を行う動物において、親から栄養や酸素を子に受け渡すための特別な器官を何という？
- 7 植物が発芽した時に最初に出る葉のことを何という？
- 8 顕微鏡の構成要素のうち、観察者の目に近い位置にあるレンズを何という？
- 9 生物の細胞を顕微鏡で観察する際、核などの構造をはっきりと見えやすくするために使われる薬品の一種を何という？
- 10 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
- 11 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？
- 12 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？
- 13 親が卵を産み、親の体外で卵の中の子が育って生まれる繁殖方法を何という？
- 14 水中ですぐす魚類が、水中の酸素を効率よく体内に取り込むために持つ呼吸器官を何という？
- 15 根において、主根と側根の区別がある発達した根のタイプが見られるのは、どのような植物のグループか？
- 16 顕微鏡の倍率を決める際、目元側に取り付けられているレンズを何という？
- 17 体の中に棒状の骨格を持ち、それが体を支える中心となっている動物群を何という？
- 18 周囲の気温が変化しても、体内で熱を産生して体温を一定に保つことができる動物を何という？
- 19 双子葉類の葉で見られる、葉脈が網目状に広がっている並び方を何というか？
- 20 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
- 21 イカや貝類のように、筋肉質の膜で内臓が包まれているグループに見られる器官を何という？
- 22 爬虫類が体の乾燥を防ぐために全身を覆っている硬い構造を何という？
- 23 アサガオやタンポポのような双子葉植物に見られる、中心となる最も太い根のことを何という？



- ① 書く
鉛筆で答えを書く
- ② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る
- ③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	これを 主根 と呼び、そこからさらに細く枝分かれした側根が広がることで、土壌中の広い範囲から効率よく水分を吸い上げることができます。		主根	☐
2	胚珠 は、めしべの下部にある子房の中に守られています。		胚珠	☐
3	虫媒花 は、目立つ花びらや甘い蜜、香りなどを出します。		虫媒花	☐
4	受粉後、この胚珠が成長して 種子 になります。		種子	☐
5	マメのなかまなどでは、この養分が 子葉 にたくわえられています。		子葉	☐
6	胎盤 は、子宮内に形成され、母体と胎児をつなぐ器官です。		胎盤	☐
7	子葉 は、光合成ができるようになるまでのエネルギー源を貯蔵している重要な器官です。		子葉	☐
8	接眼レンズ は、顕微鏡の鏡筒の最上部にあるレンズです。		接眼レンズ	☐
9	「 酢酸カーミン 溶液」や「酢酸オルセイン溶液」は、代表的な染色液です。		酢酸カーミン	☐
10	師管 は維管束の構成要素の一つで、葉でつくられた糖などの養分を、体内の必要な場所へ分配する役割を果たします。		師管	☐
11	体が大きくなると古い殻を破って脱ぎ捨て、新しい柔らかい殻が固まるまでの間に体を急激に大きくします。		脱皮	☐
12	柱頭 はめしべの最も先端にある部分で、花粉を効率よく受け止める役割があります。		柱頭	☐
13	親が卵を産み、その中で子が成長して孵化する繁殖形態を 卵生 といいます。		卵生	☐
14	魚類の頭部にある器官で、多くの毛細血管が通っています。		えら	☐
15	双子葉類 は、発芽したときに伸びる太い主根と、その横から伸びる細い側根を持つのが最大の特徴です。		双子葉類	☐
16	接眼レンズ は、観察者がのぞき込む位置にあるレンズのことです。		接眼レンズ	☐
17	脊椎動物 は、背骨（脊柱）という硬い構造を体の中心に持ち、これが運動や体を支える土台となります。		脊椎動物	☐
18	食事で得たエネルギーを使って体内で熱を産生し、常に安定した体温を維持します。		恒温動物	☐
19	網状脈 は、葉の中央にある太い主脈から枝分かれし、細かい支脈が網目のようなパターンを作る構造です。		網状脈	☐
20	単子葉類 は、子葉が1枚であること以外にも、根がひげ状にたくさん生える「ひげ根」や、葉脈が平行な「平行脈」であるといった共通の特徴を持っています。		単子葉類	☐
21	外套膜 は、貝類やイカ、タコなどの体に見られる筋肉質の組織です。		外套膜	☐
22	爬虫類の体表を覆う「 うろこ 」は、水分が体外へ蒸発するのを防ぐ重要な役割を果たしています。		うろこ	☐
23	主根 は、種子から出た幼根がそのまま太く成長したものです。		主根	☐

言えなかった用語ノート